



# 森づくりサポートニュース

平成28年(2016年) 3月30日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312  
メールアドレス biwako@morigidukuri.info URL http://www.morigidukuri.info

## 「身近な自然(里山)との触れ合いを目指して」 ～「森」の利活用に向けての取り組み～

2001年(平成13年)の春、「つどいのゾーン」に植樹した最初の苗木は、今年の春で15年(樹齢17年)になります。「つどいのゾーン」や「ふれあいゾーン」では、高い木で10mを超える木々に生長しました。センターのある「里の森ゾーン」は一番新しく、低い木は背丈ほどですが、「出会いのゾーン」では、標高99mと言われている小高い山の部分の周辺は土が良いせいか、10mに向かってどんどん生長しています。今年度から供用となった「ふるさとゾーン」では、現在、竹林の整備も進めているところです。

植樹後は、サポーターやボランティアの皆様と共に、生長に合わせた間伐や枝打ち、草刈りをして、少しずつ森らしくなってきました。ただ、森に一番大切な「土壤」は、表土も薄く、土壤生物の量も既存の森と比較するとまだまだの状態であり、間伐した木や枝をチップ化して森に返すなど、まず土壤から少しでも早く「豊か」に近づくよう手入れをしています。

ところで、この森には沢山のドングリのなる木が植えられています。クヌギ、コナラ、アベマキ、ナラガシワ、カシワ、シイ、コジイ、マテバシイ、シバグリ、アラカシ、シラカシなどですが、昨年の秋には、どっさりドングリができましたので、近隣の小学校や幼稚園、保育園のこどもたちにドングリ拾いを楽しんでいただきました。

また里の森ゾーンでは、「四季桜を守る会」が植え育てた四季桜が、春と秋に咲きました。昨秋はニュースにもなり、沢山の見物客が来てくれましたが、この森には、他にも桜の種類が植えられています。ヤマザクラ、エドヒガン、ウワミズザクラなどですが、特にエドヒガンは「出会いのゾーン」の小山の周辺に植えられており、今年の春は市の広報にも開花のニュースの記載をお願いし、市民の皆さんに来ていただこうと思っています。

特色ある5つのゾーンの活用については、サポーターの皆様と共に、これからどのようにアピールをしていけばよいかを考えていきたいと思っています。サポーターの皆様よろしくお願いします。



春みつけ



森の話



標高99m守山一高い山

第4回

# 「森づくりサポーター活動」

平成27年度最後の「森づくりサポーター活動」が、平成28年3月5日(土)に実施されました。お天気で気温も暖かく、森づくりサポーターなど79名とガールスカウト19名の合計98名が参加されました。

森づくりサポーターのみなさんは、ふれあいゾーンの2004～2005年植栽地で、4～6mに生長したカシやシイなどの常緑樹210本の間伐を行いました。間伐は、残った木の生長をうながし、森全体を健全にするためには欠かせない作業です。太い木もあり、ノコギリで切り倒すしんどい作業でしたが、みなさん熱心に取り組んでくださいました。

作業のあとみなで、木の高さを測ったり、動物の顔に似た冬芽(春をまつ芽)の観察など森の学習を楽しみました。

ガールスカウトのみなさんは、「早春の森を楽しもう」をテーマにした自然教室で、春の植物(タンポポ、ネコヤナギ、ツクシ、セリ、梅など)の形や香りを確かめ、春の訪れを感じもらいました。その後、太いクヌギの間伐木に電気ドリルで穴をあけ、シイタケ菌を打ち込みむシイタケのほだ木づくりも体験しました。

作業後は、森で発生したシイタケがたっぷり入った具たくさんの大鍋「森なべ」をみんなでいただきました。野外での作業や学習のあとでお腹もすいていて、大人も子供もおかわり続出でした。



# 「森づくり活動団体」意見交換会の開催

昨年に引き続き、「びわこ地球市民の森」で定期的（毎月一回など）に森づくり活動をされている8つの団体（ふくの会、さんまる会、みいの会フォレスト、森楽、32期園芸、レイカ33会、みろく会、レイカ36会）の代表者など16名が集まり、「森の利・活用」をテーマにした意見交換会を開催しました。

森づくりセンターから、森の手入れの進み具合と間伐木などの利用状況（シイタケ・ヒラタケ原木、クラフト材料、薪ストーブ燃料など）を報告した後、各団体から、それぞれの活動状況や課題などが報告されました。そのなかで、各グループが管理しているシイタケほだ場でのシイタケの出来不出来の話題で、場が盛り上りました。



その後、参加者から、「森に花や実のなる木を増やしてはどうか。」「森に巣箱を設置してはどうか。」「森が細長い特徴を生かして、ランニングやウォークコースを設置してはどうか。」などの貴重な意見や提言が寄せられました。

最後に、参加されていた森づくり講座の講師である中村實先生から、「森を楽しみながら森づくりに関わっていただくのが一番なので、さまざまな工夫やしきけを考え実行してください。」とのアドバイスが寄せられました。

## お知らせ

### — びわこ地球市民の森のつどい 2016 について —

“森のつどい2016”は、「育もう みどりの未来 つないでいこう みどりのバトン」をメインテーマに5月29日（日）に開催します。全員参加の「自然とふれあいウォーク」では、「植樹」から「育樹活動」へと、木々の成長している様子をご覧いただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### — 平成 28 年度森づくりサポーター活動の計画 —

平成28年 5月29日（日） びわこ地球市民の森のつどい2016

平成28年 7月23日（土） 植栽地の育樹活動と自然学習など

平成28年10月23日（日） 予定 植栽地の育樹活動と自然学習など

平成29年 3月11日（土） 植栽地の育樹活動とシイタケの菌打ちなど

# 平成28年度「びわこ地球市民の森・森づくり講座」

県営都市公園「びわこ地球市民の森」では、「森を学ぶ」、「森を調べる」、そして「森を楽しむ」ことを目的とした「森づくり講座」を開催しています。この講座で身近な自然と森づくり活動について学び、体験して、森の育成や環境のために自分ができることを見つけましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

1 会 場 びわこ地球市民の森「森づくりセンター」

〒524-0102 守山市水保町2727

2 開設日時 平成28年6月～平成29年3月の原則として毎第3土曜日

午前9時から12時まで

3 講座の主な内容（講師等の都合で講座内容の変更がある場合があります）

開講日	講座の内容	開講日	講座の内容
平成28年 6月 18日(土)	開講式 (講話)森づくりの目的と今日までの経過、 そして今後の維持・管理の進め方 (実習)初夏の自然観察と園内の案内	11月 19日(土)	(講話)植物の繁殖方法と種子の広がり方 を学ぶ (観察)秋の自然観察(いろいろな種子を 観察し、広がり方を調べる)
7月 16日(土)	(講話)琵琶湖を中心とした身近な環境問 題について (講話と調査)森の土壤生物を調べる	12月 17日(土)	(講話)ドングリをつける樹木の特徴と動 物とのかかわり (実習)間伐材やドングリ等でクラフトを 楽しむ
8月 20日(土)	(講話)森のしくみと移り変わり (講話と実習)夏の森を写そう(写真撮影を 楽しむ。次回に作品提出・館内展示)	平成29年 1月 21日(土)	(講話)自然再生をめざすビオトープの仕 組みと働きについて (講話と実習)キノコの生活の特徴とシイ タケの菌打ち
9月 17日(土)	(講話)身近な植物の名前の調べ方(植物 図鑑の使い方) (講話と調査)園内の水路に生育する水草 の種類と分布を調べる	2月 18日(土)	(講話)生物多様性危機の現状と森の外 来生物について (観察)生きものの冬越しを観察する
10月 15日(土)	(講話)地球温暖化防止と森の働きについ て (講話と調査)各ゾーンの植樹地の樹林密 度を調べる	3月 18日(土)	(講話)地球市民として「森づくり」に参加 しよう (グループ討議)森の利・活用について考 える 閉講式

実習について:「森づくりサポーター活動(下記のとおり年3回実施予定):主に植樹地の間伐作業、枝打ち作  
業、つる切り作業」に参加します。したがって、全講座の開催回数は13回になります。  
(1)7月23日(土)、(2)10月23日(日)予定、(3)平成29年3月11日(土)

(募集人員、受講料、申し込み方法、問い合わせ先等については、同封のチラシをご覧ください。)



## 編集後記

比良山に雪が消え、川辺のネコヤナギも  
膨らんで、子供たちの歓声が戻ってきました。  
“森のつどい2016”は、新緑の5月29日  
(日)。育った木々と“ふれあいウォーク”  
が楽しめます。皆様、ご参加ください。

## 森のデータ

植樹面積	80,808 m <sup>2</sup>
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森づくり活動参加者数 (平成26年度)	10,382人
内、サポーター活動 参加者数(平成26年度)	3,552人